

ファインパシベート

SUS410製 ドリルねじ・タッピンねじ

SUS410製タッピンねじやドリルねじはさびやすいことをご存じですか？

SUS410製ねじは、素材のCr量が少ないうえ、熱処理により表面硬化層のCr量が減少するため、表面に耐酸化被膜を形成しにくい欠点があります。

ケーエム精工はSUS410でも緻密な耐酸化被膜を形成する

ファインパシベート を開発しました。

	ファインパシベート	従来のパシベート	他社高耐食表面処理
耐食性※ 塩水噴霧試験 JIS Z 2371	<u>1000時間以上</u>	2 4 時間	1000時間以上
ねじ材料	<u>SUS410</u>	SUS410	SUS410特殊材料
コスト	従来品と同価格		高価
塩水噴霧試験 1000時間経過 後の外観			

※ ねじ頭部に赤錆の発生が確認できるまでの時間

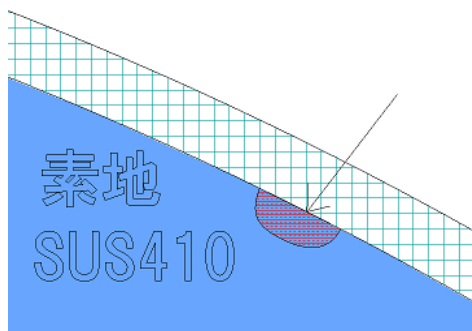
なぜさびないの？

ファインパシベート = 高密度不動態被膜

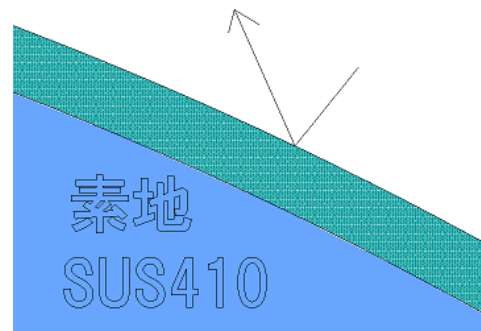
パシベート処理の最適化により、ねじ表面に従来よりもクロム量の多い不動態被膜をつくります。

高密度不動態被膜は、従来のパシベートより強固であり、腐食原因からねじの表面を徹底的に守ります。

従来のパシベート



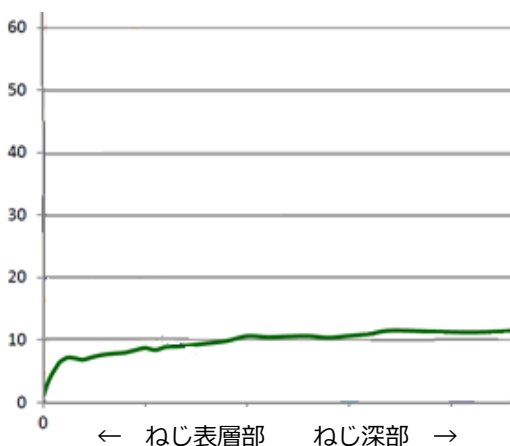
ファインパシベート



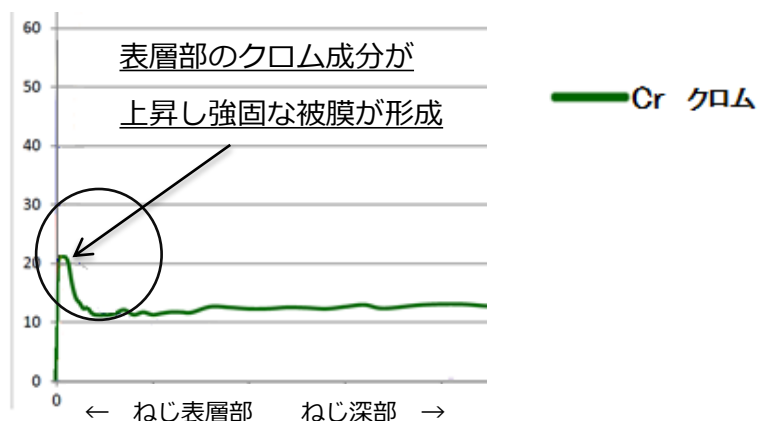
- ・ 素材は一般のSUS410のため、強度、物性は従来と同一
- ・ 特殊なコーティング処理無しで塩水噴霧試験1000時間を達成
(大阪府立産業技術総合研究所にて試験し確認)
- ・ 自社パシベート処理設備で徹底した品質管理



通常のSUS410



ファインパシベート処理後



図：X線光電子分光分析による表面クロム濃度の違い